

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 4 事業名: 自動車税納期内納税広報費

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
五味アドバイザー	<p>納期内納付率は、以前は全国平均とかなり差があったが、現在はどのくらいか。</p> <p>広く県民へ広報することも重要であると思うが、対象を絞った、例えば大口の納税者に対する広報は行っているのか。</p> <p>これまでも事業の内容の見直しや改善を行ってきたと思うが、広報の効果によって取捨選択していくという考えはあるのか。</p>	課長・保坂 陽一	<p>平成27年度の全国平均は80.7%で、本県と全国平均との差は2.7%、平成17年度では 5.5%と10年前と比べると縮小しているが、依然として全国平均を下回っている状況である。</p> <p>今年度は、昨年度納期内に納付のなかった大口納税者に対して、個別に訪問要請を行った。</p> <p>例えば、自主点検シートの事業の概要 の街頭キャンペーンは、従来は甲府駅前です平日の朝に実施していたが、対象者が限定されることから、自動車の利用者に直接PRするため、平成27年度から休日の昼間にイオンモール甲府昭和で実施するよう見直した。その他の取り組みについては、効果の見極めがつかないため、基本的には継続して行っていく考えである。</p>
諸平アドバイザー	自主点検シートの事業の概要で、 に広聴広報課執行の広報ツールを活用した広報の中にもラジオスポットがあるが、 のラジオを通じた広報のラジオスポットとの違いは何か。	課長・保坂 陽一	のラジオスポットは当課の予算で作成しているもので、 は広聴広報課の予算で実施しているラジオ番組の「やまなしINDEX」の1回である。

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
<p>諸平アドバイザー</p> <p>小口アドバイザー</p>	<p>納期内納付率を上げるために様々な取り組みを行っているのが良く分かるが、五味アドバイザーの意見と同じく、そろそろ取捨選択するような時期にきていて、どれかをやめるという選択も必要となってくるのではないかと思う。</p> <p>工夫して次から次へと新しい取り組みを取り入れて、大変ご苦労されていると理解する。どれもやめられないのは、個別の成果が見えないからであり、納税が遅れる人たちの分析をして集中的に広報する方法が良いと思うが、個人情報との関係等でなかなか分析できないのが実情だと伺った。広報するポイントは個人なのか事業者なのか、感覚的なもので良いのでどうお考えか。</p> <p>平成23年度から平成24年度で、予算額が300万円から190万円に減っているが、削減した経費の内訳は。</p> <p>ラジオスポットの回数を減らしたにも関わらず、納期内納付率が上がっている。単純にラジオスポットの効果が無いとは言えないが、回数をもう少し減らしても良いのではないか。放送の時間帯はいつなのか。</p>	<p>課長・保坂 陽一</p>	<p>督促状発付後も納税がされない納税者に対しては、滞納処分のために財産調査を行うことになるが、そのデータを見ると、事業者よりも個人のほうが多い印象である。</p> <p>自動車税納期内納税広報費だけに限らず、全体的に予算を削減しなければならない中で、ラジオスポットの放送回数を見直したことによるものである。</p> <p>車を運転している時間帯を狙い、平日は朝と夕方の通勤時間帯を中心に、休日は日中の時間帯を追加して放送している。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
<p>小口アドバイザー</p>	<p>ラジオをどれくらいの県民が聴いているのか気になるところではある。バスの車外広告は目立つので目に付く。</p> <p>全国的に各県でも納期内納税に取り組んでいると思うが、効果的な取り組み等の情報を入手することができるのか。</p> <p>納期内納付率が全国一位の滋賀県の取組内容で、「現年滞納に対する滞納処分の徹底」とあるが、納期内納税にどうつながるのか。</p> <p>滞納処分の徹底は他県や山梨県でも実施しているのか。</p>	<p>課長・保坂 陽一</p>	<p>都道府県間の情報交換で入手することはできる。納期内納付率の高い県の取り組みの情報を入手して、ベンチマークとして取り組むのは、良いことであると考え。</p> <p>自動車税を滞納する納税者には、意図的に滞納する方は少なく、うっかり納付を忘れたとか、面倒くさくて納付が遅れているといった理由が多い。地方税法では、督促状発付後も納付がないと滞納処分をしなければならないとされており、銀行預金や給与を差押えるなどの滞納処分を強化することにより、安易に滞納していた納税者については、一度滞納処分を受けると、翌年度以降は納期内納付をしようという意識が浸透していると、滋賀県では分析していると考え。</p> <p>本県でも滞納処分の強化は図っており、滞納者に対しては厳しい対応をとっているが、どの程度が厳しいのかは各県で温度差があると考えられるため、滋賀県の取り組みを聞いて取り入れられるものがあれば取り入れたい。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	他県の取組内容で、コンビニやクレジットカード納付の利用率の増加が納期内納付率の向上に寄与しているとあるが、本県ではどうか。	課長・保坂 陽一	コンビニ納付は実施済みである。クレジットカード納付については、他県の状況をみても納期内納付率の向上に貢献するものではあると認識しているが、本県では未実施である。クレジットカード納付の導入には電算システムの改修が必要となり、多額の費用がかかるというネックがあるため、費用対効果を見極めながら、慎重に検討しなければならない。本県では、平成31年度に電算システムの入替を予定しており、その際にクレジットカード納付やインターネットバンキング等のマルチペイメントなど、様々な納税ができるように検討を進めている。
五味アドバイザー	他県からの転入の場合、県外ナンバーのままでは自動車税が山梨県の税込とならないが、番号変更の案内や周知は行っているのか。	課長・保坂 陽一	市町村の窓口に住所変更のハガキを設置し、転入届等の手続きの際に登録変更の案内をしている。
小口アドバイザー	全国平均との比較の話があったが、平成21年度も平成27年度も 2.7%で変わらない。納期内納付率は年々向上しているが、全国平均との差は変わらないということは、ここ数年は苦戦しているという印象。目標まではもう一伸び必要と考えられるため、取捨選択も含めて事業内容の見直しを行う必要があると考える。		